

科目名	スタディスキル（総文）			担当	◎大橋 敦夫・小池 明・斎藤 直人		
形態	講義	単位数	2	開講時期	1年前期	実務経験	—
必修	卒業：必修			ナンバリング	KA101	DPとの関連	1・3
授業概要	短期大学生として2年間充実した学習を行うために、自己の学びの姿勢を問いつつ、基本的な学習方法を学ぶ。具体的には、①講義を受けるスタイルの確立、②レポート作成法の理解、③研究に必要な「考え方」の習得である。						
到達目標 学習成果	① 受講する講義の資料管理ができる ② 教員の指示するレポート作成に対応できる ③ 自分の考えを深める方法を身につけている						
授業計画	回	内容					
	1	学び方を学ぶ（小池学長）	短大生の学び				
	2	学び方を学ぶ①（大橋）	自校教育、入学前課題の振り返り				
	3	学び方を学ぶ②（大橋）	講義の受け方、情報整理法				
	4	学び方を学ぶ③（大橋）	調査研究の方法				
	5	学び方を学ぶ④（大橋）	研究倫理				
	6	ライティングスキル①（大橋）	レポートとは				
	7	ライティングスキル②（大橋）	レポートの構成・表現				
	8	ライティングスキル③（大橋）	引用の方法、効果的な図表の配置				
	9	ライティングスキル④（大橋）	文章の推敲				
	10	リーディングスキル①（大橋）	本の読み方				
	11	リーディングスキル②（大橋）	新聞の読み比べ				
	12	思考ツールの概説と活用①（斎藤）	シンキングツール（その1）				
	13	思考ツールの概説と活用②（斎藤）	シンキングツール（その2）				
	14	思考ツールの概説と活用③（斎藤）	KJ法等によるアイデアの創出				
15	まとめ（大橋）	グループワーク（アイデアの共有）					
評価基準	適切な思考ツールを利用し、教員の指示する提出物等に的確に対応できる。 明快に表現しようとする姿勢が身についている						
評価方法	授業態度 20% レポート（提出物） 80%						
フィードバック 方法	リアクションペーパーに対して、コメントを明示する						
アクティブ ラーニング	身体的距離を保つでのディスカッションを必要回に限り盛り込む						
教科書	オリジナル・プリント配布						
参考書	『大学生 学びのハンドブック』（世界思想社）						
履修条件	積極的に自分の意見を述べたり、ノートに筆記したりすること。また、クラスメイトの意見を傾聴すること。						
授業外学習	事前学習：これまでの自己の学びをふり返る（各回 30分程度） 事後学習：授業内容について、プリント類を読み込み、要点をまとめる（各回 60分程度）						
オフィスアワー	各担当教員のオフィスアワーを確認すること						